

## 第一章 新川崎地区新設小学校の基本計画策定に向けた背景・配慮事項

### 1. 1 幸区及び新川崎地区新設小学校の周辺地域の概要

#### (1) 幸区の概要（※ア～エは令和2年4月1日現在）

- ア. 人口 171,282 人
- イ. 面積 10.09 k m<sup>2</sup>
- ウ. 世帯数 82,355 世帯
- エ. 人口密度 16,975 人/k m<sup>2</sup>
- オ. 地勢

- ・ 幸区は川崎市南東部に位置し、川崎区・中原区、横浜市鶴見区・港北区、東京都の大田区と隣接している。
- ・ 区域内の交通としては、幹線道路の国道1号線（第二京浜）が区域の東側を南北に縦断し、国道409号線（府中街道）が北側を東西に横切っている。鉄道はJR南武線と横須賀線が西側を南北に縦断しており、JR川崎、尻手、鹿島田、新川崎の4駅が立地している
- ・ 地形は、区域北西部に位置する加瀬山（標高約35m）とその周辺を除き高低差はあまりなく、平坦な土地が広がっている。区域の外縁部は多摩川、鶴見川、矢上川の3つの河川に囲われている。区域内を流れていた二ヶ領用水の水路網の多くは、現在では暗渠化され、JR南武線沿いを北端から南に向かう約1kmが水辺空間として残されている。これらの河川や水路は、緑豊かな加瀬山とあわせて区域内に残された貴重な自然環境となっている。

#### (2) 幸区及び新設小学校周辺における動向

- 近年、JR川崎駅、鹿島田駅、新川崎駅の鉄道駅周辺を中心に、大規模共同住宅の建設が進み、子育て世代を中心に人口の増加が進んでいる。
- ・ 高齢化率（65歳以上の人口比率）が、市内で2番目に高く、20%を超えている（令和2年）。また、全66町丁のうち、5割を超える37町丁で20%を超えている。
- 令和2年度に実施した区民アンケートでは、居住年数が10年以上の区民が6割を超え、また、住みやすいと答えた区民が82.4%に達するなど住環境に関して区民の満足度が高い区である。
- 大規模共同住宅の建設などによる若い世代の増加によって、区民のライフスタイルも多様化し、従来からの町内会・自治会を基礎とした地域コミュニティが希薄化してきている。最近では、大規模共同住宅も町内会組織が設立されない事例があり、今後とも継続して地域活動ができるよう、町内会・自治会の活性化策や若い世代の組織への積極的な参画、町内会・自治会の活動を支える包括的なしくみづくりなどが求められている。
- ・ JR川崎駅西口には、超高層共同住宅のほか、「音楽のまち・かわさき」のシンボルである「ミューザ川崎シンフォニーホール」、大規模商業施設「ラゾーナ川崎プラザ」などが立地し、市内外から多くの人が集まり、更なる賑わいをみせている。
- 新川崎・創造のもり地区では、慶應義塾大学の研究施設「K キャンパス」、かわさき新産業創造センター（KBIC）、産学官共同研究施設（NANOBIIC）に加えて、平成31年には新たな産学交流・研究開発施設（AIRBIC）が開設されるなど、世界最先端の研究開発が

展開されている。

○緑豊かな加瀬山にある夢見ヶ崎公園では、59種 337点（令和2年11月末現在）の動物が飼育されており、子どもたちの遠足をはじめ、休日には家族連れでにぎわうなど、区民の憩いの場となっている。また、加瀬山にはいくつかの古墳があり、土器なども多く出土している。

※○は新川崎地区に関する特徴。

### (3) 敷地周辺の公共施設等の概要

#### ア. 日吉出張所

(ア) 所在地：川崎市幸区南加瀬1丁目7番17号

(イ) 建築年月：平成15年5月

(ウ) 建物構造：鉄筋コンクリート造地上3階建

(エ) 敷地面積：2,230㎡

(オ) 延床面積：3,491㎡

#### (カ) 概要

- ・日吉合同庁舎には日吉出張所及び、幸市民館・幸図書館日吉分館があり、区内の日吉地区に居住する方々の行政サービスの拠点となっている。
- ・日吉出張所では、戸籍・住民票や印鑑証明などの証明書の発行業務や、地域住民組織の振興、青少年健全育成、スポーツ振興、防犯灯に関する業務等を行っている。
- ・幸市民館・幸図書館日吉分館では、区民を対象とした社会教育事業や、学習室等の貸し出し、図書の貸し出し等を行っている。
- ・また、区民利用施設として、「市民活動コーナー」や、区民の文化・学習活動等の活動発表の展示場として利用できる「タウンホールやまぶき」がある。

#### イ. 新川崎・創造のもり地区

(ア) 所在地：川崎市幸区新川崎7番7号

#### (イ) 概要

JR 新川崎駅から徒歩約10分の場所に、産学公民の連携による新しい科学技術や産業を創造する研究開発拠点形成と、次代を担う子どもたちが科学・技術への夢を育む場づくりを目指す、本市の新事業・新産業創出拠点「新川崎・創造のもり」地区がある。

高津区の「かながわサイエンスパーク（KSP）」、川崎区の「テクノハブイノベーション川崎（Think）」とともに、本市内のサイエンスパークの一つである。

新川崎・創造のもりには、慶應義塾大学の先導的研究施設「K<sup>2</sup>（ケイスクエア）タウンキャンパス」、ベンチャービジネス創出拠点「かわさき新産業創造センター（KBIC）」、ナノ・マイクロ産学官共同研究施設「NANOBIIC」、産学交流・研究開発施設「AIRBIC」があり、大学の研究から、それを事業化するベンチャー企業の新製品開発まで、研究者や技術者たちが日夜、最先端の研究開発に取り組んでいる。

また、「科学とあそぶ幸せな1日」など、小中学生向け、一般市民向けの科学に親しむイベントも実施している。

#### (4) 幸区役所の主な取組

幸区では、地域課題への的確な対応を図るために、以下のような主な取組を進めている。

##### ア. 総合的なこども支援

安心して子育てできる地域社会づくりをすすめるために、区内の関係機関等による情報交換、相互協力等を行うための「幸区こども総合支援ネットワーク会議」の運営をはじめとした、総合的なこども支援ネットワーク事業を実施している。

また、子育てをする区民が孤立しないよう、区内保育園等を活用した子育てサロンの開催や、転入してきた区民同士の交流を促進するために、「幸区うえるかむサロン」を開催するなど、こども・子育て支援を実施している。

##### イ. 地域福祉・健康づくり

地域における人々の支え合いを醸成し、高齢になっても住み慣れた地域でいきいきと元気に暮らし続けられる環境づくりの実現を目指し、サポーター養成講座等による「ふれあい&すこやか（ふれすこ）事業」、健康づくり学習会を中心とした「健康長寿推進事業」を実施している。

##### ウ. 地域コミュニティの活性化

地域のつながりを大切にし、人々が支え合い、顔の見える“暮らしやすいまちづくり”を進めるために、町内会・自治会等と連携を図りながら、町内会・自治会への加入促進や立ち上げ支援等による地域コミュニティ活動の推進事業を実施している。

##### エ. 環境まちづくり

区民の環境意識の啓発、高揚を図るために、道路公園センター等での緑のカーテンの実施や、区役所庁舎の環境配慮設備を活用した環境啓発イベントの開催等による、「さいわいはじめようエコ事業」を実施している。

##### オ. 地域資源の活用

企業や大学など様々な研究関連施設が集積している幸区の特徴を生かし、子どもたちに科学技術やものづくりへの関心を高めてもらうために、企業や大学と連携を図りながら科学体験イベントを開催している。

##### カ. 地域の魅力発信

貴重な地域資源である夢見ヶ崎動物公園を核として、その周辺で活動する団体や企業など多様な主体との協働による「ゆめみらい交流会」を開催するなど、地域コミュニティの活性化や魅力向上に向けた取組を推進している。

#### (5) 南加瀬中学校区における小中連携の主な取組

(南加瀬中学校区：南加瀬中・夢見ヶ崎小・南加瀬小・小倉小)

川崎市では、小中学校 9 年間の学びの連続性を踏まえた確かな学力を育成するための小中連携教育に取り組んでいる。また、児童・生徒間の交流による豊かな人間性や社会性の形成、中学校入学時の不安を解消し、安心して期待感をもって、中学校生活のスタートが切れるように努めている。南加瀬中学校区でも授業での交流、行事や部活動での交流、教職員の交流を進めている。

#### ア. 授業での交流

- ・夏休み前に中学校教員が小学校に出向き一緒に給食を食べ、午後の授業を参観して、研究協議を行っている。ここでは、小中での学習内容の重なり、学び方の違いなどについて意見交換し、9年間の学びの連続性について研修している。
- ・子どもの顔が見える形での情報交換は非常に有効であるため、3月には中学校教員が小学校で出前授業を行い、児童の様子を直接参観した後、入学に向けての情報交換を実施している。

#### イ. 部活動体験

- ・中学校生徒会主催による小学6年生児童を対象とした交流会で、事前に希望した部活動の体験活動などを行っている。

#### ウ. 学校行事での児童生徒交流

- ・小倉小学校の運動会において、南加瀬中学校の吹奏楽演奏。
- ・夢見ヶ崎小学校の学習発表会において、南加瀬中学校の吹奏楽演奏。
- ・夢見ヶ崎小学校の運動会において、南加瀬中学校の陸上部模範演技。
- ・南加瀬小学校の運動会において、南加瀬中学校の陸上部模範演技。

#### エ. 地域行事での児童生徒交流

- ・南加瀬中学校区地域教育会議主催の地域ふれあいの会（於：南加瀬小学校）で、4学校職員有志バンドの発表、南加瀬中学校の吹奏楽演奏。4小中学校代表児童・生徒がそれぞれ協力し合い成果物等（あいさつ運動用の旗やプランター等）を各校玄関に設置した。
- ・南加瀬中学校の体育祭において、小学生や地域の方々が参加できるプログラムがある。

#### オ. 職員交流

- ・全教職員が一堂に会し、膝を交えて研修することで顔が見える関係づくりの場として有効に機能しているため、夏休みに小中学校の全教職員が集まり、児童・生徒指導の事例を発表し合い、よりよい対応の仕方を協議し研修を深めている。
- ・小学校児童支援コーディネーターと中学校生徒指導担当との間で日頃から連携を密にとる関係づくりがある。